

2022年度 介護職員等によるたんの吸引等 基本研修カリキュラム

2022/5/31

課程	9:00～10:30	10:40～12:10	13:10～14:40	14:50～16:20	講義時間	演習時間
1	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6.5	-
	(5-2階会議室)					
7/12 (火)	1. 人間と社会 開講式 1) 介護職員と医療的ケア 0.5 2) 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度 1.0	2. 保健医療制度とチーム医療 1) 保険医療に関する制度 1.0 2) 医療的行為に関する法律 0.5 3) チーム医療と介護職員との連携 0.5	3. 安全な療養生活 1) たんの吸引や経管栄養の安全な実施 2.0	5. 健康状態の把握 1) 身体・精神の健康 1.0		
2	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		5.5	-
	(5-3階実習室1)					
7/13 (水)	4. 清潔保持と感染予防 1) 感染予防 0.5 2) 職員の感染予防 0.5	3. 療養環境の清潔、消毒法 0.5 4) 滅菌と消毒 1.0	2) 健康状態を知る項目 (バイタルサインなど) 1.5	5. 健康状態の把握 3) 急変状態について 1.5		
3	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6	-
	(5-2階会議室)					
7/19 (火)	6. 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論 1) 呼吸のしくみとはたらき 1.5 2) いつもと違う呼吸状態 1.0 3) たんの吸引とは 1.0 4) 人工呼吸器と吸引 2.0 6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意0.5					
4	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		5	-
	(5-3階実習室1)					
7/21 (木)	6. 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論 5) 子どもの吸引について 1.0 7) 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して) 1.0 8) 喀痰の吸引により生じる危険・事後の安全確認 1.0 9) 急変事故発生時の対応と事前対策 2.0					
5	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6	-
	(5-3階実習室1)					
7/27 (水) *	7. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 2) 技術と留意点 3.0 ※解説のみ 1) たんの吸引で用いる器具等 1.0 3) 吸引に伴うケア 1.0 4) 報告及び記録 1.0 ※演習準備					
6	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6	-
	(5-3階実習室1)					
7/28 (木)	8. 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論 1) 消化器系のしくみとはたらき 1.5 2) 消化・吸収とよくある消化器の症状 1.0 8) 家族の気持ち 0.5 3) 経管栄養法とは1.0 4) 注入する内容に関する知識 1.0 5) 経管栄養実施上の留意点 1.0					
7	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6	-
	(5-3階実習室2)					
8/2 (火)	8. 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論 6) 子どもの経管栄養 1.0 8) 説明と同意 1.0		3安全な療養生活 2) 救急蘇生法2.0 7) 感染予防 1.0 9) 安全確認 1.0 8-10) 急変・事故発生時の対応と事前対策 1.0			
8	(看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		6	-
	(5-3階実習室1)					
8/4 (木) *	9. 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順 1)用いる器具等 1.0 2)技術と留意点 3.0 3)必要なケア 1.0 4)報告及び記録 1.0 ※演習準備					
9	★ 吸たん (看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		2	5
	(5-3階実習室1)					
8/9 (火) *	高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順 吸引の技術と留意点 2.0 ※演習5時間(口・鼻・気管 5回以上)					
10	★ 経管栄養 (看護学科教員担当)		(看護学科教員担当)		2	5
	(5-3階実習室1)					
8/10 (水) *	高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説 経管栄養の技術と留意点 2.0 演習5時間 (胃ろうor腸ろう/経鼻各5回)					
研修時間 合計：61					51	10

※★は演習日です。

※筆記試験日程：R4. 8/23(火)AM(会場：USP-Room3)

※合否発表 8/30(火)PM